

豊田陽介:業績一覧(2019年2月現在)

豊田 陽介(とよた ようすけ)

特定非営利活動法人気候ネットワーク主任研究員。1977年生まれ。立命館大学大学院社会学研究科博士課程前期課程修了。社会学修士。2004年から現職。再生可能エネルギー普及政策を専門とし、地域における再生可能エネルギー普及のための活動づくり、支援に取り組む。龍谷大学、京都ノートルダム女子大学非常勤講師を兼任。自然エネルギー市民の会運営委員。大阪自治体問題研究所理事。

<書籍>

(共編著)

- ・ 的場信敬・平岡俊一・豊田陽介・木原浩貴、2018、『エネルギー・ガバナンス』学芸出版。
- ・ 和田武・豊田陽介・田浦健朗・伊東真吾、2014、『市民・地域共同発電所のつくり方』かもがわ出版。
- ・ 和田武・新川達郎・田浦健朗・平岡俊一・豊田陽介・伊与田昌慶、2011、『地域資源を活かす温暖化対策』学芸出版。
- ・ 和田武・田浦健朗・平岡俊一・豊田陽介、2007、『市民・地域が進める温暖化防止』学芸出版。

(共著・分担執筆)

- ・ 豊田陽介、2018、「原発か石炭か？それとも再生可能エネルギー」気候ネットワーク編、『石炭火力発電 Q&A「脱石炭」は世界の流れ』38-49、かもがわ出版。
- ・ 豊田陽介、2015、「1万機の小さな発電所づくり 市民事業支援」諸富徹編、『エネルギーの世界を変える。22人の仕事』148-156、学芸出版。
- ・ 的場信敬・平岡俊一・豊田陽介・多比良雅美・井上芳恵、2013、「内子町における地域住民のエンパワメントの可能性」阿部大輔・的場信敬、『地域空間の包容力と社会的持続性』206-222、日本経済評論社。
- ・ 豊田陽介、2013、「ハワイにおけるクリーンエネルギー社会・経済の形成」上園昌武、『先進例から学ぶ再生可能エネルギーの普及政策』93-119、本の泉社。
- ・ 豊田陽介、2013、「農山村の地域資源を活かした先進事例」上園昌武、『先進例から学ぶ再生可能エネルギーの普及政策』140-170、本の泉社。
- ・ 豊田陽介、2010、「市民が主役の再生可能エネルギー普及」遠州尋美、『低炭素社会への選択-原子力から再生可能エネルギーへ』181-202、法律文化社。

<論文>

(査読有)

- ・ 豊田陽介・野田浩資、2017、「地方自治体の地球温暖化対策における市民・住民との連携・協働の現状と課題 —京都府南部と北部の地域間比較を中心として—」『日本地域政策』19、76-83.
- ・ 豊田陽介・平岡俊一・山添史郎・野田浩史、2014、「多主体連携による政策形成における環境NPOの役割-省エネラベルの制度化を事例として」『日本地域政策』12、129-136.
- ・ 平岡俊一・豊田陽介・山添史郎・野田浩史、2012、「環境パートナーシップ組織の機能と活動展開プロセス-京都市における「京のアジェンダ 21 フォーラム」の到達点と課題」『環境経済・政策研究』5(2)、1-13.

(査読無)

- ・ 豊田陽介、2018、「オーストリア・ニーダースタライヒ州における自治体エネルギー政策の重層的支援」『人間と環境』44(2)、32-35.
- ・ 豊田陽介、2017、「広がる再生可能エネルギー100%と日本の市民・地域共同発電所」『都市問題』108(11)、16-22.
- ・ 豊田陽介・手塚智子、2017、「ドイツ・ハンブルク市における配電網再公有化に見るエネルギーの自治」『人間と環境』43(2)、23-29、日本環境学会.
- ・ 豊田陽介、2017「脱炭素社会を目指す世界と逆行する日本の温暖化・エネルギー政策」『おおさかの住民と自治』466.
- ・ 豊田陽介、2016、「市民・地域主体による再生可能エネルギー普及の取り組み「市民・地域共同発電所」の動向と展望」、『サステナビリティ研究』6、87-100.
- ・ 豊田陽介、2016、「欧州における自治体エネルギー政策推進のためのクオリティ・マネジメント制度」『人間と環境』42(1)、57-60.
- ・ 豊田陽介、2015、「今日的な再生可能エネルギーをめぐる情勢とその影響—接続保留問題と固定価格買取制度の見直しを中心に—」、『協同組合研究誌 にじ』650、151-157.
- ・ 豊田陽介・佐々木健洋、2015、「原発に頼らない電気を自分たちで作る—福島から全国へ、福島県農民連による自然エネルギー発電所づくり—」、『協同組合研究誌 にじ』650、140-146.
- ・ 山添史郎・豊田陽介・平岡俊一・野田浩資、2014、「環境NPO会員の社会関係資本と参加の様態—NPO法人「気候ネットワーク」を事例として—」、『京都府立大学学術報告. 公共政策』6、45-60.
- ・ 豊田陽介、2014、「再生可能エネルギー普及による地域からのエネルギー転換と地域活性化の取り組み」『人間と環境』40(3)、13-15.
- ・ 豊田陽介、2014、「再生可能エネルギーによる地域エネルギー自立と活性化」、『協同組合研究誌 にじ』645、76-84.
- ・ 平岡俊一・的場信敬・豊田陽介・井上芳恵・多比良雅美・多比良康彦、2014、「地域づくり型温暖化対策推進のためのパートナーシップ組織の構築に関する考察——愛媛県内子町にお

- ける実践の成果と課題』『ESD・環境教育研究』16、13-22.
- ・ 豊田陽介、2013、「日本環境学会第 39 回研究発表会 公開シンポジウム I 「再生可能エネルギーが拓く地域の未来」報告」『人間と環境』39(3)、9-15.
 - ・ 山添史郎・豊田陽介・平岡俊一・野田浩資、2013、「環境 NPO の会員層と活動の志向性——NPO 法人「気候ネットワーク」を事例として」『京都府立大学学術報告. 公共政策』5、83-93.
 - ・ 平岡俊一・的場信敬・井上芳恵・豊田陽介、2012、「地域づくり型温暖化対策の現状と展開戦略—愛媛県内子町を事例とした考察」『北海道教育大学紀要 人文・社会科学編』63(1)、9-24.
 - ・ 松岡紳・豊田陽介・平岡俊一・山添史郎・野田浩資、2012、「環境 NPO 会員の環境意識・活動志向の世代間比較の試み」『福祉社会研究』12、101-112.
 - ・ 豊田陽介、2012、「3つの25%は達成可能—温暖化・エネルギー政策と地域の取組—」『唯物論と現代』48、62-83.
 - ・ 豊田陽介、2012、「自然エネルギーに関する先進自治体の取り組み」『日本の科学者』47、19-24.
 - ・ 豊田陽介、2010、「アメリカにおける再生可能エネルギー普及の取組」『人間と環境』36(3)、251-257.
 - ・ 大崎義治・豊田陽介・早川光俊・和田武、2010、「市民風力発電所設置に向けた自然エネルギー市民の会の取り組み」『日本風力エネルギー協会誌』99、19-26.
 - ・ 豊田陽介・平岡俊一、2008、「市民・地域が進める温暖化防止—地域における温暖化対策の重要性」『部落問題研究所発行誌』781、18-28.

<学会発表（責任発表者としての研究発表のみ）>

- ・ 豊田陽介、2018年6月24日、「日本と欧州における都市公社による再生可能エネルギー」（日本環境学会第44回研究発表会（三重大学））.
- ・ 豊田陽介、2018年6月24日、「オーストリア・ニーダーエスターライヒ州における自治体支援制度」（日本環境学会第44回研究発表会（三重大学））.
- ・ 豊田陽介、2017年7月1日、「市民・地域共同発電所全国調査報告(2016)」（日本環境学会第43回研究発表会（北海学園大学））.
- ・ 豊田陽介、2016年6月20日、「欧州におけるエネルギー自立推進のためのクオリティ・マネジメントシステム」（日本環境学会第42回研究発表会（東京都市大学））.
- ・ 豊田陽介・野田浩資、2016年6月19日、「京都府内の地球温暖化防止活動における 連携・協働の状況」（日本環境学会第42回研究発表会（東京都市大学））.
- ・ 豊田陽介・藤野純一・須田真依子、2015年8月23日、「低炭素社会づくりのための教育の定義と意義—子どもエコライフチャレンジ事業を事例として—」（日本環境教育学会第26回大会（名古屋市立大学））.

- ・ 豊田陽介、2015年6月20日、「市民・地域共同発電所の動向と展望」(日本環境学会第41回研究発表会(龍谷大学))。
- ・ 豊田陽介、2014、「自然エネルギーによる地域エネルギー自立のための諸条件」(日本科学者会議第20回総合学術研究集会(西南学院大学))。
- ・ 豊田陽介、2014、「市民・地域共同発電所の動向－2013年全国調査報告－」(日本科学者会議第20回総合学術研究集会(西南学院大学))。
- ・ 豊田陽介・平岡俊一・的場信敬・井上芳恵、2014、「地域づくり型再生可能エネルギー政策の形成過程の比較・分析」(日本環境学会第40回研究発表会)。
- ・ 豊田陽介「京都市立全小学校における温暖化防止教育、2013、「こどもエコライフチャレンジ」の評価と展望」(日本環境教育学会第24回大会(びわこ成蹊スポーツ大学))。
- ・ 豊田陽介、2013、「気候変動・エネルギー政策に関する自治体の動向－自治体アンケート調査報告－」(日本環境学会第39回研究発表会(広島大学))。
- ・ 豊田陽介、2012、「ハワイにおける再生可能エネルギー政策」(日本環境学会第38回研究発表会(別府大学))。
- ・ 豊田陽介、2011、「環境政策形成におけるNGO・NPOの役割」(日本協働政策学会2011年度大会発表(全国市町村国際文化研修所))。
- ・ 豊田陽介、2011、「再生可能エネルギーを活用した地域活性化に資する温暖化対策の提案・実践に関する研究報告」(日本環境学会第37回研究発表会(三重大学))。
- ・ 豊田陽介、2009、「多主体連携型の環境政策形成におけるNPO法人「気候ネットワーク」の役割－京都市の地球温暖化防止活動とローカルガバナンス(1)」(第40回環境社会学会大会発表(京都教育大学))。
- ・ 豊田陽介、2006、「市民の共同による太陽光発電技術の普及」(第6回環境技術学会研究発表会(龍谷大学))。